

授業科目	グルーミング演習		担当教員	佐藤 真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。					
到達目標	グルーミング技術の基礎の習得					
テキスト・参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	6 0 %:授業内での小テストを行う。または課題などで評価。 4 0 %:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。			
	レポート	0				
	小テスト	60				
	提出物	0				
	その他	40				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	グルーミング基礎実習論	グルーミング道具の配布・説明・使用方法・注意点等・ウィッグの説明・使用等			
	2	グルーミング基礎実習論	グルーミング道具の配布・説明・使用方法・注意点等・ウィッグの説明・使用等			
	3	グルーミング基礎実習議論 2	ウィッグの使用・ブラッシングの練習			
	4	グルーミング基礎実習論 2	ウィッグの使用・ブラッシングの練習			
	5	グルーミング基礎実習論 3	ウィッグの使用・ブラッシングの練習・グルーミング用語の説明等・グルーミング道具・実習室の消毒・掃除の説明			
	6	グルーミング基礎実習論 3	ウィッグの使用・ブラッシングの練習・グルーミング用語の説明等・グルーミング道具・実習室の消毒・掃除の説明			
	7	グルーミング実演	グルーミング犬種のグルーミング実演			
	8	グルーミング実演	グルーミング犬種のグルーミング実演			
	9	グルーミング基礎実習 1	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	10	グルーミング基礎実習 1	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	11	グルーミング基礎実習 2	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	12	グルーミング基礎実習 2	ブラッシング・コーミングの基礎・道具の扱い・犬の扱い方			
	13	グルーミング基礎実習 3	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	14	グルーミング基礎実習 3	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	15	グルーミング基礎実習 4	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	16	グルーミング基礎実習 4	ブラッシング・コーミングの強化・犬の扱い方			
	17	グルーミング基礎実習 5	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			
	18	グルーミング基礎実習 5	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			
	19	グルーミング基礎実習 6	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方			

	20	グルーミング基礎実習 6	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方
	21	グルーミング基礎実習 7	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方
	22	グルーミング基礎実習 7	ブラッシング・コーミング使用確認・爪切り耳掃除強化・犬の扱い方
	23	グルーミング基礎実習 8	足裏バリカン強化・犬の扱い方
	24	グルーミング基礎実習 8	足裏バリカン強化・犬の扱い方
	25	グルーミング基礎実習 9	足裏バリカン強化・犬の扱い方
	26	グルーミング基礎実習 9	足裏バリカン強化・犬の扱い方
	27	グルーミング基礎実習 10	小テスト・課題
	28	グルーミング基礎実習 10	小テスト・課題
	29	グルーミング基礎実習 11	小テスト・課題
	30	グルーミング基礎実習 11	小テスト・課題

[illegible]

授業科目	愛玩対策		担当教員	前鼻 彰人	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23 回	時間数
授業目的	愛玩動物飼養管理士 2 級の合格レベル、知識を覚える。				
到達目標	愛玩動物飼養管理士 2 級に合格する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物飼養管理士 2 級教本第 1 巻・第 2 巻 課題報告問題集				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	日本愛玩動物協会とは、愛玩動物飼養管理士について		
	2	動物愛護論	動物観について、動物愛護運動の歴史、現代の動物愛護の思想		
	3	人と動物の関係学	関係学とは、人間社会に貢献する動物、子どもの発達と動物		
	4	動物のからだの仕組みと働き 1	基本の仕組み、消化器、循環器、腎臓・肝臓		
	5	動物のからだの仕組みと働き 2	感覚器、神経系、生殖器、小テスト		
	6	動物の飼養管理 1	総論、健康と疾病、管理衛生		
	7	動物の飼養管理 2	犬の歴史、犬の飼養管理、猫の歴史、猫の飼養管理		
	8	動物の飼養管理 3	ウサギ、ハムスターの飼養管理		
	9	動物の飼養管理 4	モルモット、フェレット、チンチラの飼養管理		
	10	動物の飼養管理 5	鳥類総論、フィンチ・インコ/オウム類、繁殖・手乗りについて、爬虫類の飼養管理、小テスト		
	11	動物のしつけ	学習理論、犬と猫の社会化、犬のしつけ、猫のしつけ		
	12	動物愛護管理法 1	法令概論、法の制定・改正の歴史、目的・基本原則、基本指針、所有者又は占有者の責務		
	13	動物愛護管理法 2	動物販売業の責務、第一種動物取扱業について、第二種動物取扱業について		
	14	動物愛護管理法 3	周辺環境の保全に係る措置、特定動物について、35 条～40 条、罰則		
	15	その他の法令	狂犬病予防法、身体障害者補助犬法、ペットフード安全法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、小テスト		
	16	法令まとめ	まとめ、問題解説		
	17	飼養管理まとめ	まとめ、問題解説		
	18	検定対策 1	課題報告問題		
	19	検定対策 2	課題報告問題		
	20	検定対策 3	課題報告問題		

	21	検定対策 4	課題報告問題
	22	検定対策 5	課題報告問題
	23	検定対策 6	課題報告問題 ・ 小テスト

[illegible]

授業科目	動物形態機能学		担当教員	前鼻 彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。					
到達目標	生命のすがた、運動器と皮膚を理解する。					
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 1 巻 動物形態機能学/動物繁殖学					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題		履修内容		
	1	生命のすがた 1		体の基本構造と基本物質		
	2	生命のすがた 2		器官と組織		
	3	生命のすがた 3		動細胞のしくみと構造		
	4	生命のすがた 4		DNA の働き		
	5	運動器 1		骨格の構成、小テスト		
	6	運動器 2		骨の形状と構造		
	7	運動器 3		骨格系の分類		
	8	運動器 4		骨格系の分類		
	9	運動器 5		関節の構造と働き		
	10	運動器 6		筋肉の構造と働き		
	11	運動器 7		筋肉の分類		
	12	運動器 8		各部筋肉、小テスト		
	13	外皮系 1		皮膚の構造		
	14	外皮系 2		皮膚の付属器官		
	15	外皮系 3		皮膚の働き、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物形態機能学		担当教員	前鼻 彰人	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。				
到達目標	消化器と栄養の関わり、呼吸器とその調節、血液と造血器について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 1 巻 動物形態機能学/動物繁殖学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	消化器と栄養代謝 1	消化器の構造		
	2	消化器と栄養代謝 2	消化器の機能		
	3	消化器と栄養代謝 3	唾液腺と膵臓の構造と機能		
	4	消化器と栄養代謝 4	肝臓の構造と機能		
	5	消化器と栄養代謝 5	消化と吸収の仕組みと栄養素の代謝、小テスト		
	6	呼吸器とその調節 1	呼吸器の構造		
	7	呼吸器とその調節 2	換気とガス交換		
	8	呼吸器とその調節 3	酸素と二酸化炭素の運搬		
	9	呼吸器とその調節 4	呼吸運動の調節機能、小テスト		
	10	血液と造血器 1	血球成分と血漿成分		
	11	血液と造血器 2	赤血球の構造と機能		
	12	血液と造血器 3	白血球の構造と機能		
	13	血液と造血器 4	血小板の構造と機能、血液凝固機構と繊維素溶解		
	14	血液と造血器 5	自然免疫		
	15	血液と造血器 6	獲得免疫、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物行動学		担当教員	長谷川 満	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。				
到達目標	個体維持行動や発達過程と社会行動、学習理論や問題行動、その治療方法を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 6 巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	行動学の基礎 1	歴史、4 つの問い		
	2	行動学の基礎 2	行動の発現と制御		
	3	個体維持行動	犬と猫の維持行動		
	4	発達過程と社会行動 1	社会行動		
	5	発達過程と社会行動 2	発達ステージと行動的特徴		
	6	発達過程と社会行動 3	行動発達、小テスト		
	7	学習理論 1	馴化と感作		
	8	学習理論 2	古典的条件付けとオペラント条件付け		
	9	問題行動 1	問題行動の定義と要因		
	10	問題行動 2	問題行動の種類		
	11	問題行動 3	問題行動の種類		
	12	問題行動 4	問題行動の種類 、小テスト		
	13	行動治療 1	行動診療の進め方		
	14	行動治療 2	行動修正法		
	15	行動治療 3	攻撃行動、小テスト		

[illegible]

授業科目	生命倫理・動物福祉		担当教員	阿保 桜	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。				
到達目標	生命倫理の概念を把握し、動物福祉（愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物）を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 4 巻 動物看護学概論 / 人と動物の関係学 / 生命倫理・動物福祉				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	生命倫理の概念 1	生命倫理の概念とさまざまな動物観		
	2	生命倫理の概念 2	生命倫理の概念とさまざまな動物観		
	3	動物福祉 1	動物福祉の概念		
	4	動物福祉 2	動物福祉の概念		
	5	動物福祉 3	動物福祉の評価		
	6	動物福祉 4	動物福祉と社会、小テスト		
	7	愛玩動物 1	愛玩動物の現状		
	8	愛玩動物 2	福祉上の問題		
	9	愛玩動物 3	愛玩動物福祉のための対策、小テスト		
	10	産業動物 1	産業動物の福祉		
	11	産業動物 2	産業動物の福祉		
	12	実験動物 1	実験動物の福祉		
	13	実験動物 2	実験動物の福祉 、小テスト		
	14	野生・展示動物 1	野生・展示動物の福祉		
	15	野生・展示動物 2	野生・展示動物の福祉		

[illegible]

授業科目	動物臨床看護学総論		担当教員	佐藤 真帆	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。				
到達目標	動物看護業務（動物看護過程、診療記録等）やターミナルケアに関わる技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 9 巻 動物臨床看護学総論 / 動物臨床看護学各論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	動物看護過程の展開 1	動物看護過程とは何か		
	2	動物看護過程の展開 2	動物看護過程における 5 つの構成要素		
	3	動物看護過程の展開 3	アセスメント		
	4	動物看護過程の展開 4	問題の明確化（看護診断）		
	5	動物看護過程の展開 5	動物看護計画		
	6	動物看護過程の展開 6	動物看護過程の実施と評価について、小テスト		
	7	動物看護業務 1	診療記録（カルテ）の作成方法		
	8	動物看護業務 2	動物看護記録の作成方法		
	9	動物看護業務 3	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割、小テスト		
	10	動物看護業務 4	クリティカルパス、事故管理		
	11	動物看護業務 5	若齢動物看護の特徴		
	12	動物看護業務 6	老齢動物看護の特徴		
	13	ターミナルケア 1	グリーフとペットロス ・ 小テスト		
	14	ターミナルケア 2	ターミナルケアの目的		
	15	ターミナルケア 3	ターミナルケアの方法・実践		

[illegible]

授業科目	動物臨床看護学各論		担当教員	岩崎 忍	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
到達目標	疾患の徴候や病態を把握し、神経系疾患や筋・骨格的、整形外科疾患について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 9 巻 動物臨床看護学総論 / 動物臨床看護学各論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	徴候や疾患の理解と対処 1	代表的な徴候や病態、疾患に関して		
	2	徴候や疾患の理解と対処 2	徴候、病態の援助について		
	3	代表的な徴候 1	全身徴候と特異的徴候		
	4	代表的な徴候 2	特異的病態、小テスト		
	5	筋骨格系、整形外科系疾患 1	跛行、膝蓋骨脱臼		
	6	筋骨格系、整形外科系疾患 2	前十字・後十字靱帯断裂		
	7	筋骨格系、整形外科系疾患 3	骨折、骨腫瘍		
	8	筋骨格系、整形外科系疾患 4	股関節形成不全		
	9	筋骨格系、整形外科系疾患 5	レッグペルテス		
	10	筋骨格系、整形外科系疾患 6	その他の整形外科系疾患、小テスト		
	11	皮膚科疾患 1	体質、細菌感染による皮膚疾患		
	12	皮膚科疾患 2	真菌感染による皮膚疾患		
	13	皮膚科疾患 3	寄生虫感染による皮膚疾患		
	14	皮膚科疾患 4	アトピー、アレルギーによる皮膚疾患		
	15	皮膚科疾患 5	自己免疫関連皮膚疾患、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物臨床検査学		担当教員	今木 康彦	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。				
到達目標	血液検査、糞尿検査、細胞診と遺伝子検査に関して理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 7 巻 動物内科看護学 / 動物臨床検査学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	臨床検査概論 1	臨床検査の基礎		
	2	臨床検査概論 2	臨床検査の基礎		
	3	糞便検査 1	虫卵・原虫の検出方法		
	4	糞便検査 2	細菌の観察方法		
	5	尿検査 1	尿の性状の理解		
	6	尿検査 2	尿沈渣の理解、小テスト		
	7	血液検査 1	血漿、血清の分離法		
	8	血液検査 2	全血球検査法（CBC）		
	9	血液検査 3	血液塗抹		
	10	血液検査 4	ヘマトクリット官を用いた検査		
	11	血液検査 5	その他の血液系に関わる検査、小テスト		
	12	細胞診と病理組織検査 1	細胞診断の基礎		
	13	細胞診と病理組織検査 2	組織検査のための検体の取り扱い		
	14	遺伝子検査 1	遺伝子検査の基礎		
	15	遺伝子検査 2	遺伝子検査のための検体の取り扱い、小テスト		

[illegible]

授業科目	愛玩動物学		担当教員	阿保 桜		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。					
到達目標	犬、猫、ウサギの歴史、品種、特徴、適切な飼養管理、体調管理を理解する。					
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 6 巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	歴史と品種 1	犬の歴史			
	2	歴史と品種 2	代表的な品種			
	3	歴史と品種 3	代表的な品種			
	4	歴史と品種 4	代表的な品種			
	5	愛玩動物の飼養管理 1	犬の適切な飼養管理、小テスト			
	6	歴史と品種 5	猫の歴史			
	7	歴史と品種 6	代表的な品種			
	8	歴史と品種 7	代表的な品種			
	9	愛玩動物の飼養管理 2	猫の適切な飼養管理、小テスト			
	10	血統	血統と血統書、小テスト			
	11	使役動物	身体障害者補助犬とその他の使役犬			
	12	エキゾチックアニマル ウサギ 1	ウサギの品種と特徴			
	13	エキゾチックアニマル ウサギ 2	ウサギの生態			
	14	エキゾチックアニマル ウサギ 3	ウサギの適切な飼養管理			
	15	エキゾチックアニマル ウサギ 4	ウサギの体調管理、小テスト			
	16					

[illegible]

授業科目	愛玩動物学		担当教員	佐藤 真帆		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。					
到達目標	様々なエキゾチックアニマルの歴史、品種、特徴、適切な飼養管理、体調管理と動物の基本的な取り扱いを理解する。					
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 6 巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	エキゾチックアニマル ハムスター 1	ハムスターの品種と生態、特徴			
	2	エキゾチックアニマル ハムスター 2	ハムスターの適切な飼養管理			
	3	エキゾチックアニマル ハムスター 3	ハムスターの適切な体調管理			
	4	エキゾチックアニマル モルモット 1	モルモットの品種と生態、特徴			
	5	エキゾチックアニマル モルモット 2	モルモットの適切な飼養管理			
	6	エキゾチックアニマル モルモット 3	モルモットの適切な体調管理、小テスト			
	7	エキゾチックアニマル フェレット 1	フェレットの品種と生態、特徴			
	8	エキゾチックアニマル フェレット 2	フェレットの飼養管理と体調管理			
	9	エキゾチックアニマル 鳥類 1	鳥類の品種と生態、特徴			
	10	見学実習	盲導犬協会見学			
	11	エキゾチックアニマル 鳥類 2	鳥類の飼養管理と体調管理			
	12	エキゾチックアニマル その他動物 1	品種と生態、特徴			
	13	エキゾチックアニマル その他動物 2	飼養管理と体調管理			
	14	動物の基本的な取り扱い 1	動物のケアの方法			
15	動物の基本的な取り扱い 2	ストレスの緩和方法				

[illegible]

授業科目	人と動物の関係学		担当教員	今木 康彦	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。				
到達目標	人間と動物の関わり、福祉や動物介在活動、療法、教育に関して理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 4 巻 動物看護学概論 / 人と動物の関係学 / 生命倫理・動物福祉				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	人間と動物の関わりの歴史 1	人と動物の関係（世界）		
	2	人間と動物の関わりの歴史 2	人と動物の関係（日本）		
	3	現代の人間と動物の関わり	現状の人と動物の関係、小テスト		
	4	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 1	動物が人間に与える影響		
	5	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 2	動物介在療法		
	6	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 3	動物介在活動		
	7	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 4	動物介在教育		
	8	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 5	学校飼育動物、小テスト		
	9	人間と動物の関わり 1	ペットを飼育する理由と現状		
	10	人間と動物の関わり 2	適切な飼育		
	11	人間と動物の関わり 3	ペットへの依存		
	12	人間と動物の関わり 4	ペットロス		
	13	人間の福祉と愛玩動物 1	動物虐待		
	14	人間の福祉と愛玩動物 2	多頭飼育崩壊		
	15	人間の福祉と愛玩動物 3	人と動物の高齢化と動物医療ソーシャルワーク、小テスト		

[illegible]

授業科目	適正飼養指導論		担当教員	阿保 桜	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	愛玩動物の効用や飼養目的を理解した上で、適正飼育の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。				
到達目標	愛玩動物の適正飼養と、適正な飼養方法について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60	評価試験：60% レポート：20% 小テスト：20%		
	レポート	20			
	小テスト	20			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	愛玩動物の飼養 1	適正飼養、人間が受ける影響と問題点		
	2	適正飼養の推進 2	動物取扱業		
	3	適正飼養の推進 3	多頭飼育ガイドラインとは、過剰繁殖の問題と対策		
	4	適正飼養の推進 4	犬の社会化		
	5	適正飼養の推進 5	子犬教室や子猫教室		
	6	適正飼養の推進 6	円山動物園見学		
	7	適正飼養の推進 9	円山動物園見学		
	8	適正飼養の推進 9	円山動物園見学		
	9	適正飼養の推進 9	円山動物園見学		
	10	適正飼養の推進 10	不妊・去勢手術、小テスト		
	11	グルーミング基礎	グルーミング道具の配布・説明		
	12	グルーミング基礎	道具の使用練習（ウィッグ、ブラッシング）		
	13	グルーミング基礎	接客対応技術		
	14	グルーミング基礎	グルーミング座学 グルーミングの心構え、グルーミング用語		
	15	グルーミング基礎	グルーミング座学 犬の適切な扱い方、カルテ記入方法、小テスト		

[illegible]

授業科目	適正飼養指導論		担当教員	阿保 桜	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	愛玩動物の効用や飼養目的を理解した上で、適正飼育の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。				
到達目標	行政と災害、終末期ケアについて理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60	評価試験：60% レポート：20% 小テスト：20%		
	レポート	20			
	小テスト	20			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	終末期ケアの基礎 1	動物霊園見学実習		
	2	終末期ケアの基礎 1	動物霊園見学実習		
	3	終末期ケアの基礎 1	動物霊園見学実習		
	4	終末期ケアの基礎 1	動物霊園見学実習		
	5	終末期ケアの基礎 2	グリーフとは		
	6	終末期ケアの基礎 3	グリーフケアとペットロス		
	7	終末期ケアの基礎 4	グリーフケアとペットロスの実践		
	8	災害危機管理と支援 1	災害とは		
	9	災害危機管理と支援 2	動物災害救護ガイドライン		
	10	災害危機管理と支援 3	同行避難と同伴避難		
	11	災害危機管理と支援 4	平常時と災害時の備え		
	12	災害危機管理と支援 5	動物看護師の役割		
	13	動物愛護管理行政 1	動物愛護管理行政とは		
	14	動物愛護管理行政 2	行政の役割		
	15	動物愛護管理行政 3	動物取扱業者の規制		

[illegible]

授業科目	動物生活環境学		担当教員	吉成 史織		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。					
到達目標	飼育環境整備や、ペットに関わる生活環境について学び、飼育マナー等を理解する。					
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	飼育環境整備 1	犬の飼育環境整備			
	2	飼育環境整備 2	猫の飼育環境整備			
	3	飼育環境整備 3	犬との暮らし方			
	4	飼育環境整備 4	猫との暮らし方			
	5	飼育環境整備 5	シニアペットとの暮らし方、小テスト			
	6	ペットツーリズム	ペットツーリズムと動物看護師			
	7	ドッグラン	ドッグランの環境整備と管理			
	8	ペット関連のイベント活動	イベント企画と運営			
	9	保護収容施設	管理センターとシェルター、小テスト			
	10	ペットへの教育 1	トレーニング			
	11	ペットへの教育 2	教育内容			
	12	動物介在教育施設	学校飼育動物の管理			
	13	マナー・リスクへの対応 1	飼育マナーとは			
	14	マナー・リスクへの対応 2	条例			
	15	マナー・リスクへの対応 3	ペット保険に関して、小テスト			

[illegible]

授業科目	ペット関連産業概論		担当教員	阿保 桜	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者として実践的知識や手法を学ぶ。				
到達目標	動物取扱業としての職業倫理、ペット関連サービスの現状と課題を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	職業倫理 1	ペット関連産業の職業倫理		
	2	職業倫理 2	商取引の関連法規		
	3	職業倫理 3	商取引の関連法規		
	4	職業倫理 4	商取引の関連法規		
	5	職業倫理 5	商取引の関連法規		
	6	職業倫理 6	動物の愛護及び管理に関する法律（動愛法）の概要、小テスト		
	7	飼育実態と市場規模	飼育実態と市場規模の概要		
	8	現状と課題 1	ペット関連サービスの現状		
	9	現状と課題 2	ペット関連サービスの現状、小テスト		
	10	動物取扱業 1	動物取扱制度		
	11	動物取扱業 2	第一種動物取扱業		
	12	動物取扱業 3	第二種動物取扱業		
	13	動物取扱業 4	動物取扱責任者とは		
	14	動物取扱業 5	ワクチンで予防できる感染症（犬）		
	15	動物取扱業 6	ワクチンで予防できる感染症（猫）、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物形態機能学実習(1 年)		担当教員	佐藤 真帆	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数		時間数
授業目的	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。				
到達目標	運動器や内臓器官、組織像を理解し、顕微鏡の適切な操作方法を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第 3 版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 1 巻 動物形態機能学 / 動物繁殖学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30%			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	顕微鏡の取り扱い 1	顕微鏡の各部名称と基礎的な取り扱い方法		
	2	顕微鏡の取り扱い 2	顕微鏡の操作法と管理法		
	3	顕微鏡の取り扱い 3	顕微鏡の操作法と管理法		
	4	運動器 1	骨格標本を用いた関節の名称と構造、機能 、小テスト		
	5	運動器 2	骨格標本を用いた関節の名称と構造、機能		
	6	運動器 3	模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能		
	7	運動器 4	模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能		
	8	運動器 5	模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能		
	9	内臓器官 1	内臓器官の把握（模型、解剖） 、小テスト		
	10	内臓器官 2	内臓器官の把握（模型、解剖）		
	11	内臓器官 3	雄、雌の生殖器を含む特徴的な器官		
	12	組織像の観察 1	主要臓器の組織像観察と解剖		
	13	組織像の観察 2	主要臓器の組織像観察と解剖		
	14	組織像の観察 3	主要臓器の組織像観察と解剖		
	15	組織像の観察 4	主要臓器の組織像観察と解剖 、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物臨床検査学実習		担当教員	今木 康彦	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	検体検査の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第3版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学 / 動物臨床検査学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	検体検査 1	糞便検査(直接塗抹法の手技)		
	2	検体検査 2	糞便検査(直接塗抹法の実践)		
	3	検体検査 3	糞便検査(浮遊法の手技)		
	4	検体検査 4	糞便検査(浮遊法の実践)		
	5	検体検査 5	糞便検査の虫卵および原虫の検出		
	6	検体検査 6	糞便検査の虫卵および原虫の検出 、小テスト		
	7	検体検査 7	尿検査の手技		
	8	検体検査 8	尿検査の物理化学性状		
	9	検体検査 9	尿検査所見の記録		
	10	検体検査 10	尿検査の補助(その他)、小テスト		
	11	検体検査 11	全血球検査及び血液化学検査		
	12	検体検査 12	全血球検査及び血液化学検査		
	13	検体検査 13	全血球検査及び血液化学検査		
	14	検体検査 14	全血球検査及び血液化学検査		
	15	検体検査 15	全血球検査及び血液化学検査 、小テスト		

[illegible]

授業科目	動物愛護・適正飼養実習		担当教員	長谷川 満	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	動物の飼育管理に関する基本的な扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼育に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	動物の基本的な取扱いの技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第 3 版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	心がまえ 1	しつけの必要性和重要性		
	2	心がまえ 2	犬を飼ううえで考えること		
	3	しつけ 1	トイレ、イタズラ		
	4	しつけ 2	甘噛み、じゃれつき		
	5	しつけ 3	鳴き、吠え、小テスト		
	6	しつけ 4	ルール作り		
	7	しつけ 5	子犬の管理、成長と関わり方		
	8	しつけ 6	散歩のしかた、引っばりの対応、小テスト		
	9	実技 1	リードの持ち方、制御の仕方		
	10	実技 2	落ち着かせ方、注意の引き方		
	11	実技 3	一緒に歩く		
	12	実技 4	フードを使って注意を引く方法		
	13	実技 5	フードで気を引いて一緒に歩く		
	14	実技 6	オイデ・オスワリ		
	15	実技 7	実技評価		

[illegible]

授業科目	動物愛護・適正飼養実習	担当教員	阿保 桜		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	動物の飼育管理に関する基本的な扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼育に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。				
到達目標	動物の基本的な取扱いの技術を修得する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト（第 3 版） 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 10 巻 適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	基本的な取扱い 1	爪切りの保定法		
	2	基本的な取扱い 2	爪切り処置		
	3	基本的な取扱い 3	肛門嚢処置の保定法		
	4	基本的な取扱い 4	肛門嚢処置、小テスト		
	5	基本的な取扱い 5	耳掃除の道具の取り扱いと洗浄剤		
	6	基本的な取扱い 6	耳掃除の保定法		
	7	基本的な取扱い 7	耳掃除処置、小テスト		
	8	基本的な取扱い 8	口腔内衛生管理の保定法		
	9	基本的な取扱い 9	口腔内衛生管理、小テスト		
	10	基本的な取扱い 10	動物愛護管理センターの活動		
	11	基本的な取扱い 11	動物取扱業		
	12	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学		
	13	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学		
	14	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学		
	15	動物愛護管理行政	動物愛護管理センター見学		

[illegible]

授業科目	ゼミ		担当教員	小川 紀子		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	コンピュータを利用した事務作業に必要な文書の作成やマナーについて学習。					
到達目標	コンピュータの様々な基礎と利用技術の取得。					
テキスト・参考図書等						
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	0	小テスト：30% 提出物：70%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	70				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	パソコンの基礎	パソコンの基本構成と IT 活用のルール・情報のモラル			
	2	文書作成 基本 1	基本的なビジネス文書			
	3	文書作成 基本 2	表を含んだビジネス文書			
	4	文書作成 基本 3	図や図形を含んだビジネス文書			
	5	文書作成 基本 4・小テスト	添え状の作り方			
	6	表計算 基本 1	基本操作			
	7	表計算 基本 2	セル操作、ワークシート操作			
	8	表計算 基本 3	オート SUM / 基本書式 / 関数検索			
	9	表計算 基本 4	グラフの基本操作			
	10	表計算 基本 5・小テスト	図形の作成			
	11	プレゼンテーション 基本 1	基本操作			
	12	プレゼンテーション 基本 2	図形やスライドの挿入			
	13	プレゼンテーション 基本 3	書式設定			
	14	プレゼンテーション 基本 4	アニメーション			
	15	プレゼンテーション 基本 5・小テスト	アニメーション			

[illegible]

授業科目	ビジネスマナー		担当教員	山本 美紀	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。				
到達目標	社会人常識マナー検定 3 級				
テキスト・参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト 2・3 級、プリント教材				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	0			
	その他	0			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	社会常識（社会と組織）	社会人の自覚、キャリアを理解する。会社組織の成り立ち、スキルと能力、変動する社会、雇用形態の多様化		
	2	社会常識（仕事と成果）	目標の重要性、組織目標と個人目標、主体性の発揮、組織活性化、企業と経営資源		
	3	社会常識（一般知識）1	政治や経済に関する基礎用語、ビジネス用語等		
	4	社会常識（一般知識）2	カタカナ用語、日本を知る		
	5	社会常識（ビジネス計算）	ビジネスにおける計算力、数式を元にした課題の解決		
	6	検定対策 1	復習、小テスト		
	7	コミュニケーション（ビジネスコミュニケーション）	職場のコミュニケーション、良い人間関係のためのコミュニケーション		
	8	コミュニケーション（社会人にふさわしい言葉遣い）	敬語の種類と適切な使い方、状況に合わせた話し方		
	9	コミュニケーション（ビジネス文書）1	ビジネス文書の特徴と重要性、社内文書の種類・形式		
	10	コミュニケーション（ビジネス文書）2	社内文章作成、分かりやすいグラフ		
	11	検定対策 2	復習、小テスト		
	12	ビジネスマナー（職場のマナー）	出勤時から終業時、公私、機密のけじめ		
	13	ビジネスマナー（来客対応）1	心構え、七大基本用語		
	14	ビジネスマナー（来客対応）2	予約客基本手順、面談約束のない来客対応		
	15	検定対策 3	復習、小テスト		

授業科目	ビジネスマナー	担当教員	山本美紀	
		実務経験	有：□ 無：■	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・前期	担当教員		
授業形態		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		
		担当教員		
		実務経験		

授業科目	ビジネスマナー		担当教員	山本 美紀		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15 回	時間数	30 時間
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の修得を目的とする。					
到達目標	社会人常識マナー検定 3 級					
テキスト・参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト 2・3 級、プリント教材					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70	評価試験：70% 小テスト：30%			
	レポート	0				
	小テスト	30				
	提出物	0				
	その他	0				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	ビジネスマナー（電話対応）1	受け方の基本手順、名乗りから切り方、伝言メモ			
	2	ビジネスマナー（電話対応）2	電話の掛け方と携帯電話の心得			
	3	ビジネスマナー（交際業務）1	慶事のマナー・結婚			
	4	ビジネスマナー（交際業務）2	弔事のマナー、病気見舞い			
	5	ビジネスマナー（文章類の受取りと発送）	郵便物・文書の取扱い、さまざまなあ配送サービス、オフィス環境と事務機器			
	6	検定対策 4	復習、小テスト			
	7	検定対策 5	総合演習			
	8	検定対策 6	総合演習			
	9	検定対策 7	総合演習			
	10	検定対策 8	総合演習、小テスト			
	11	検定対策 9	総合演習			
	12	検定対策 10	総合演習			
	13	検定対策 11	総合演習			
	14	検定対策 12	総合演習			
	15	検定対策 13	総合演習			

[illegible]

授業科目	動物看護総合実習		担当教員	前鼻 彰人	
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 1 年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数		時間数
授業目的	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。				
到達目標	愛玩動物看護師の技術を修得する。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験		手術実習見学レポート：20% 動物看護技能 到達度確認試験：20% 実習記録：40% 実習報告会評価：20%		
	レポート				
	小テスト				
	提出物				
	その他	100			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	実習前オリエンテーション	実習説明と心構え、記録の書き方、お礼状の書き方		
	2	動物看護技能 1	接遇マナー対応実習（挨拶、返事、報告、連絡、相談、傾聴の方法）		
	3	動物看護技能 2	動物病院標準衛生管理（診察台清掃、各種消毒、犬舎管理）		
	4	動物看護技能 3	基礎診療補助技術（呼出（飼い主）誘導、犬の預かり方、基礎問診）		
	5	手術前オリエンテーション	去勢手術前オリエンテーション（手術の概要、注意点、基本援助）		
	6	手術実習 1	去勢手術見学		
	7	手術実習 2	去勢手術見学		
	8	動物看護技能 到達度確認試験 1	実技試験		
	9	動物看護技能 到達度確認試験 2	実技試験		
	10	動物看護技能 認定表彰式	動物看護技能 認定表彰式		
	11	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践、排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践、投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践、感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践、動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践		
	12	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践、排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践、投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践、感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践、動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践		

			動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	13	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践、排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践、投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践、感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践、動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	14	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践、排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践、投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践、感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践、動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	15	実習報告 1	資料作成
	16	実習報告 2	資料作成
	17	実習報告 3	発表
	18	実習報告 4	発表

[illegible]